

矯正・小児歯科学実習

責任者名：本吉 満(歯科矯正学 教授)

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

菊入 崇(小児歯科学 准教授)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

石山 未紗(小児歯科学 助教)

武井 浩樹(小児歯科学 兼任講師)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

中嶋 昭(歯科矯正学 准教授)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

納村 泰弘(歯科矯正学 准教授)

内田 靖紀(歯科矯正学 専任講師)

稲葉 瑞樹(歯科矯正学 助教)

深山 和香子(歯科矯正学 助教)

◆一般目標 (GIO)

不正咬合の治療を行うために必要な装置の製作方法や器具・機材の使用方法を理解する。

小児の歯科治療のために保険の考え方と保険装置の製作・使用方法を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

「矯正装置とその作用」

- ①矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- ②矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。
- ③矯正治療に必要な力学を説明できる。

「乳歯用既製金属冠を用いた保険装置の設計と作製」

- ①咬合誘導の概念を説明できる。
- ②保険の目的と種類、適応症を説明できる。
- ③保険装置の設計と作製法および使用上の留意点を説明できる。

◆評価方法

実習成果物 (80%) と平常試験 (20%) で評価する。

フィードバックは実習中・実習成果物の採点時に良い点、悪い点を指摘する。平常試験においては対応する実習時の説明・解説で行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
本吉 満	火曜日 17:50～18:50・歯科矯正学講座 研究室	motoyoshi.mitsuru@nihon-u.ac.jp	
白川 哲夫	月曜日 17:50～18:50・小児歯科学講座 研究室	shirakawa.tetsuo@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

実習開始前にインストラクターが当日の説明・解説をし、実習のデモンストレーションを行った後に実習を行う。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	小児歯科学基礎・臨床実習 第3版	白川哲夫, 朝田芳信, 苅部洋行, 木本茂成, 清水武彦, 牧憲司	医歯薬出版	2021年
教科書 2	MANUAL FOR ORTHODONTIC BASIC TRAINING	本吉満, 内田靖紀, 稲葉瑞希, 坂口真人	日本大学歯学部歯科矯正学講座	2022年

◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP-4]

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP-4]

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前にシラバスおよび教科書を読んで、実習内容を理解しておくこと。

◆準備学習時間

毎回の実習の前に、60分程度の時間を充てて予習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科矯正学（4 年前期）

矯正・小児歯科学演習（4 年前期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	全	8.29	3	<p>【遠隔】</p> <p>小児の咬合管理の 実際</p> <p>1) 乳歯冠修復の特 徴・支台歯形成の 実際</p> <p>(教 1)pp.55-62</p>	<p>乳歯の全部被覆冠の種類と適応症を 説明できる。</p> <p>乳歯冠装着のための支台歯形成の手 順とバーなどの器具の使用法を説明 できる。</p>	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
2 , 3	B , A	8.30 8.30	1 ~ 2 3 ~ 4	<p>【対面】</p> <p>1. Crown Loop 保 隙装置の製作</p> <p>担当教員紹介</p> <p>~ 実習器材器具配 布・点検</p> <p>1) 乳歯冠装着のた めの支台歯形成</p> <p>(教 1)pp.55-62</p>	<p>乳歯の全部被覆冠の種類と適応症を 説明できる。</p> <p>乳歯冠装着のための支台歯形成の手 順とバーなどの器具の使用法を実施 できる。</p>	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
4	全	9.5	3	<p>【遠隔】</p> <p>1. Crown Loop 保 隙装置の製作</p> <p>2) 乳歯冠の選択・ 調整</p> <p>(教 1)pp.55-62</p>	<p>乳歯冠の調整法，調整用プライヤー の種類と使用法，仕上げ研磨法，装 着法などを説明できる。</p>	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
5 , 6	B , A	9.6 9.6	1 ~ 2 3 ~ 4	<p>【対面】</p> <p>1. Crown Loop 保 隙装置の製作</p> <p>2) 乳歯冠の調整・ 支台歯への試適</p>	<p>乳歯冠の調整法，調整用プライヤー の種類と使用法，仕上げ研磨法，装 着法などを実施できる。</p>	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療

				(教1)pp.55-62			
7	全	9.12	3	【遠隔】 1. Crown Loop 保隙装置の製作 ループ型保隙装置の特徴とその設計 (教1)pp.73-78	Crown Loop 保隙装置について、その適応症ならびに構造について説明できる。 乳歯冠の試適から、印象、作業模型の製作、ループの設計、Wire Loop 屈曲、Wire Loop と乳歯冠のろう着、研磨、合着までの流れを説明できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
8, 9	B, A	9.13 9.13	1 ~ 2 3 ~ 4	【対面】 1. Crown Loop 保隙装置の製作 3)設計、Wire Loop 屈曲 (教1)pp.73-78	Crown Loop 保隙装置について、その適応症ならびに構造について説明できる。 Wire Loop の屈曲法を理解し、プライヤーの使用法を実施できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
10, 11	B, A	9.20 9.20	1 ~ 2 3 ~ 4	【対面】 1. Crown Loop 保隙装置の製作 「平常試験」	第1~9回までの内容について筆記試験を行い、習得度を確認できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
12	全	9.26	3	【遠隔】 矯正治療の実際 1.自在ろう着 1)自在ろう着の説明 (教2) pp.23-32 2)タイポドントの調整 (正常咬合)の説明 2.上顎舌側弧線装置 1)上顎中切歯の舌	ワイヤーが焼純され、弾性を失うことを防ぐためのろう着法を理解し、説明できる。 中切歯の舌側転位のセットアップ状態を理解し、説明できる。 バンドの歯への適合について理解し説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				側転位のセットアップの説明 2)上顎第一大臼歯のバンド試適の説明 (教 2) pp.33-50 「平常試験」(第12回授業の内容)			
13, 14	B, A	9.27 9.27	1 ～ 2 3 ～ 4	【対面】 担当教員紹介 2 実習器材器具配布・点検 ～ 矯正治療の実際 4 1.自在ろう着 1)自在ろう着 (教 2) pp.23-32 2)タイポドントの調整 (正常咬合) 2.上顎舌側弧線装置 1)上顎中切歯の舌側転位のセットアップ 2)上顎第一大臼歯のバンド試適 (教 2) pp.33-50 および第12回の平常試験の解説	ワイヤーが焼純され、弾性を失うことを防ぐためのろう着法を実施できる。 中切歯の舌側転位のセットアップを実施できる。 バンドの歯への適合を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
15	全	10.3	3	【遠隔】 Crown Loop 保隙装置についての課題学習	第1～9回までの内容ならびに Crown Loop 保隙装置の臨床上の留意点について解説、提示された課題に対してレポートを提出し、その習得度を確認できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
16	全	10.10	3	【遠隔】 2.上顎舌側弧線装置	バンドの歯への装着について理解し説明できる。 維持装置の構造を理解し、説明でき	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				<p>3)維持装置の仮着の説明</p> <p>4)作業模型の製作の説明</p> <p>5)ST ロックの脚部の屈曲の説明</p> <p>6)主線の屈曲の説明</p> <p>7) 維持装置の溶接の説明</p> <p>(教 2) pp.33-50</p> <p>「平常試験」(第16回授業の内容)</p>	<p>る。</p> <p>維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、説明できる。</p>		
17, 18	B, A	10.11 10.11	1 ~ 2 3 ~ 4	<p>【対面】</p> <p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>3)維持装置の仮着</p> <p>4)作業模型の製作</p> <p>5)ST ロックの脚部の屈曲</p> <p>6)主線の屈曲</p> <p>7) 維持装置の溶接</p> <p>(教 2) pp.33-50</p> <p>および第16回の平常試験の解説</p>	<p>バンドの歯への装着を実施できる。</p> <p>維持装置の構造を理解し、操作できる。</p> <p>維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、操作できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
19	全	10.17	3	<p>【遠隔】</p> <p>矯正治療の実際</p> <p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>8) 補助弾線のろう着の説明</p> <p>9) 装置の研磨の説明</p> <p>10) セメント合着の説明</p> <p>11)ダンキングの説明</p> <p>(教 2) pp.33-</p>	<p>維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、説明できる。</p> <p>補助弾線の屈曲方法を理解し、説明できる。</p> <p>補助弾線による上顎中切歯の唇側移動の様相を説明できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				50 「平常試験」(第19回授業の内容)			
20, 21	B, A	10.18 10.18	1 ~ 2 3 ~ 4	【対面】 2.上顎舌側弧線装置 8) 補助弾線のろう着 9) 装置の研磨 10) セメント合着 11)ダンキング (教 2) pp.33-50 および第19回の平常試験の解説	維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、操作できる。 補助弾線を屈曲し、操作できる。 ダンキングを行い、補助弾線による上顎中切歯の唇側移動の様相を確認することができる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
22	全	10.24	3	【遠隔】 3.拡大装置 1) 不正咬合のセットアップの説明 2) 上顎第一大臼歯および第一小臼歯へのバンドの試適の説明 3) 作業模型の製作の説明 4) 拡大ネジの脚部の屈曲の説明 5) 補助ワイヤーの屈曲の説明 (教 2) pp.51-63 「平常試験」(第22回授業の内容)	上顎急速拡大装置の構造を理解し、説明できる。 上顎急速拡大装置のラボワークを理解し、説明できる。 バンドの試適方法、作業模型の製作方法、拡大ネジおよび補助ワイヤーの屈曲方法を理解し、説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
23, 24	B, A	10.25 10.25	1 ~ 2 3	【対面】 3.拡大装置 1) 不正咬合のセットアップ	上顎急速拡大装置の構造を理解し、創造できる。 上顎急速拡大装置のラボワークを実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

			～ 4	2) 上顎第一大臼歯 および第一小臼歯 へのバンドの試適 3) 作業模型の製作 4) 拡大ネジの脚部 の屈曲 5) 補助ワイヤーの 屈曲 (教 2) pp.51- 63 および第 22 回の 平常試験の解説	バンドの試適、作業模型の製作、拡大ネジおよび補助ワイヤーの屈曲を実施できる。		
25	全	10.31	3	【遠隔】 3.拡大装置 6) ろう着の説明 7) 研磨の説明 8) セメント合着の説明 9) ダンキングの説明 (教 2) pp.51- 63 「平常試験」(第 25 回授業の内容)	拡大装置のろう着方法、装置の研磨、装着方法について理解し、説明できる。 拡大装置の操作方法、拡大量について理解し、説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
26 , 27	B , A	11.1 11.1	1 ～ 2 3 ～ 4	【対面】 3.拡大装置 6) ろう着 7) 研磨 8) セメント合着 9) ダンキング (教 2) pp.51- 63 および第 25 回の 平常試験の解説	拡大装置のろう着、装置の研磨、装着を実施できる。 拡大装置の操作方法を実施でき、ダンキングを行い、拡大量を測定できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
28	全	11.7	3	【遠隔】 4.マルチブラケット装置 I. ブラケット及びチューブのポジシ	正常咬合の上下の歯の接触状態を理解し、説明できる。 エッジワイズブラケット、チューブの正しい位置づけ法を理解し、説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				<p>ヨニングとワイヤーベンディングの基礎訓練</p> <p>1) 正常咬合排列の説明</p> <p>2) 上下顎第一大臼歯バンドへのチューブの電気溶接とセメント合着の説明</p> <p>3) 上下顎歯列へのブラケット接着の説明</p> <p>(教 2) pp.65-76</p> <p>「平常試験」(第28回授業の内容)</p>		
29, 30	B, A	11.8 11.8	1 ~ 2 3 ~ 4	<p>【対面】</p> <p>4.マルチブラケット装置</p> <p>I. ブラケット及びチューブのポジション</p> <p>ヨニングとワイヤーベンディングの基礎訓練</p> <p>1) 正常咬合排列</p> <p>2) 上下顎第一大臼歯バンドへのチューブの電気溶接とセメント合着</p> <p>3) 上下顎歯列へのブラケット接着</p> <p>(教 2) pp.65-76</p> <p>および第28回の平常試験の解説</p>	<p>正常咬合の上下の歯の接触状態を説明できる。</p> <p>エッジワイズブラケット、チューブの正しい位置づけ法を実施できる。</p>	<p>歯科矯正学</p> <p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>
31	全	11.14	3	<p>【遠隔】</p> <p>4.マルチブラケット装置 (Iのつづ</p>	<p>各種ループの目的、作用を理解し、説明できる。</p> <p>各種ループ、アーチブランクの屈曲</p>	<p>歯科矯正学</p> <p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>

				き) 4)ワイヤーベンディングの基礎訓練の説明 (教 2) pp.77-84 「平常試験」(第31回授業の内容)	法理解し、説明できる。		
32, 33	B A	11.15 11.15	1 ~ 2 3 ~ 4	【対面】 4.マルチブラケット装置 (I のつづき) 4)ワイヤーベンディングの基礎訓練 (教 2) pp.77-84 および第31回の平常試験の解説	各種ループの屈曲を実施でき、作用を説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
34	全	11.21	3	【遠隔】 4.マルチブラケット装置 II. Angle I 級叢生症例の改善 5)不正咬合排列の説明 Angle I 級上顎犬歯の低位唇側転位と下顎前歯部叢生 (教 2) pp.97-99 6) アーチワイヤーの屈曲：ステップ1の説明 (教 2) pp.85-97 「平常試験」(第34回授業の内容)	I 級不正咬合の症例の治療ステップを説明できる。 ループの目的、作用について理解し、説明できる。 ループを組み込んだラウンドワイヤーのアーチ製作方法について理解し、説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
35	B	11.22	1	【対面】	I 級不正咬合の症例の治療ステップ	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬

36	A	11.22	～ 2 3 ～ 4	<p>4.マルチブラケット装置</p> <p>II. Angle I 級叢生症例の改善</p> <p>5)不正咬合排列 Angle I 級上顎犬歯の低位唇側転位と下顎前歯部叢生 (教 2) pp.97-99</p> <p>6) アーチワイヤーの屈曲：ステップ 1 (教 2) pp.85-97 および第 34 回の平常試験の解説</p>	<p>を説明できる。</p> <p>ループを組み込んだラウンドワイヤーのアーチ製作を実施できる。</p>		<p>合の治療</p>
37	全	11.28	3	<p>【遠隔】</p> <p>4.マルチブラケット装置 (II のつづき①)</p> <p>7) 結紮, ダンキング (ステップ 1) の説明</p> <p>8) アーチワイヤーの屈曲：ステップ 2 の説明</p> <p>9) 結紮, ダンキングの説明</p> <p>10) アーチワイヤーの屈曲：ステップ 3 の説明</p> <p>11) 結紮, ダンキングの説明 (教 2) pp.98-103</p> <p>「平常試験」(第 37 回授業の内容)</p>	<p>アーチワイヤーの装着と結紮について理解し、説明できる。</p> <p>ループやコイルスプリングの目的、作用を理解し、説明できる。</p> <p>ループやコイルスプリングを組み込んだラウンドワイヤーのアーチ製作方法について理解し、説明できる。</p>	<p>歯科矯正学</p>	<p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>
38	B A	11.29 11.29	1 ～	<p>【対面】</p> <p>4.マルチブラケット</p>	<p>アーチワイヤーの装着と結紮を実施できる。</p>	<p>歯科矯正学</p>	<p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>

39			2 3 ～ 4	ト装置（Ⅱのつづき①） 7) 結紮, ダンキング（ステップ1） 8) アーチワイヤーの屈曲：ステップ2 9) 結紮, ダンキング 10) アーチワイヤーの屈曲：ステップ3 11) 結紮, ダンキング （教 2） pp.98-103 および第 37 回の平常試験の解説	ステップ2と3のアーチワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。 歯の移動方向をダンキングにより観察し、理解することができる。		
40	全	12.5	3	【遠隔】 4.マルチブラケット装置（Ⅱのつづき②） 12) アーチワイヤーの屈曲：ステップ4の説明 （教 2） pp.103-110 「平常試験」（第40回授業の内容）	アーチワイヤーに屈曲するファーストオーダーバンドの目的と作用について理解し、説明できる。 歯の移動方向を説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
41 , 42	B A	12.6 12.6	1 ～ 2 3 ～ 4	【対面】 4.マルチブラケット装置（Ⅱのつづき②） 12) アーチワイヤーの屈曲：ステップ4 （教 2） pp.103-110 および第 40 回の平常試験の解説	ステップ4のアーチワイヤーに屈曲するファーストオーダーバンドの目的を理解し、実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

43	全	12.12	3	<p>【遠隔】</p> <p>4.マルチブラケット装置（IIのつづき③）</p> <p>13) 結紮, ダンキング（ステップ4）の説明</p> <p>14)アーチワイヤー（レクト）の屈曲：ステップ5の説明</p> <p>15)結紮, ダンキングの説明 （教 2） pp.111-122</p> <p>「平常試験」（第43回授業の内容）</p>	レクトアンギュラーワイヤーに屈曲する各種オーダーバンドの目的と作用について理解し、説明できる。 歯の移動様相をダンキングにより観察し、理解することができる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
44, 45	B, A	12.13 12.13	1 ～ 2 3 ～ 4	<p>【対面】</p> <p>4.マルチブラケット装置（IIのつづき③）</p> <p>13) 結紮, ダンキング（ステップ4）</p> <p>14)アーチワイヤー（レクト）の屈曲：ステップ5</p> <p>15)結紮, ダンキング</p> <p>貸与器材返却 （教 2） pp.111-122</p> <p>および第43回の平常試験の解説</p>	レクトアンギュラーワイヤーに屈曲する各種オーダーバンドの目的と作用を理解し、アーチワイヤーの作成を実施できる。 歯の移動様相をダンキングにより観察し、理解することができる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
小児歯科学	2007	高森 一乗
	2292	武井 浩樹
	2675	石山 未紗
	3590	菊入 崇
	1537	白川 哲夫
歯科矯正学	1203	中嶋 昭
	1285	納村 泰弘
	1367	内田 靖紀
	1972	馬谷原 琴枝
	2168	稲葉 瑞樹
	3089	深山 和香子
	1075	本吉 満

